

龍造寺家及び家臣について調べるには



所蔵図書で調べる

龍造寺家について

- 『戦国の肥前と龍造寺隆信』 川副 義敦／著 宮帯出版社 2018
龍造寺家のおこりから鍋島政権への移行まで。系図、戦陣図などを挿入し分かりやすく記述したもの。口絵やルビ、巻末の解題も参考となる。
- 『佐賀県近世史料 第8編 第3巻』
佐賀県立図書館／編 佐賀県立図書館 2007
龍造寺隆信の漢文体年譜記録「泰巖公御年譜」を収録。その他「石氏源流」「焼残反故」等龍造寺関係を所収。
※「泰巖」は隆信の法名(法雲院殿泰巖宗龍大居士)
- 『佐賀県史料集成 古文書編 第3巻』
佐賀県史編纂委員会／編 佐賀県立図書 1958
「龍造寺家文書」を収録。文治2(1186)年～近世初期に至るまでの文書。『佐賀県史料集成』には「後藤家文書」(第6巻)、「多久家文書」(第8,9,10巻)等龍造寺家に関わりの深い資料群を多数収録。その他「河上神社文書」(第1巻)、「武雄神社文書」(第2巻)、「有浦家文書」(第19巻)等、中世の文書を翻刻収録。
- 『肥陽軍記』 原田 種真／著 勉誠社 1994
編年体(起こった出来事を年代順に記していく方法)。龍造寺家の由来にはじまり、龍造寺家兼(剛忠)の話から隆信の事績までを記述したものの。

●『北肥戦誌』 馬渡 俊継／著 青潮社 1995

別名『九州治乱記』。編年体。佐賀藩士馬渡俊継が編さん。肥前国を中心にした九州全域の通史。巻末に「人名索引」および「城郭・陣所・居館・合戦索引」付き。

●『佐賀県史編纂資料69～72(藤竜家譜1～4)』

4分冊(1 初代^{すえいえ}季家～七代^{いえたね}家種、2 八代^{いえまさ}家政～十六代^{たねみつ}胤栄、3 十七代^{たかのぶ}隆信、4 十八代^{まさいえ}政家)

●『翻刻「永野御書キ物抜書」(『戦国の九州と武雄 後藤貴明・家信の時代』)』 武雄市図書館・歴史資料館 2010

龍造寺隆信宛文書を含み「龍造寺家文書」を補完するもの。武雄市所蔵。福岡市立博物館堀本一繁氏の解題と共に翻刻を掲載。

系図について

●『肥前陶磁史考 附録 系図』

中島 浩気／著 肥前陶磁史考刊行会 1936

「龍造寺系図」は明治29年頃までを収録。原資料は劣化が著しいため複製物を御利用ください。利用を御希望の場合はカウンターへお尋ねください。

●『龍造寺家と鍋島直茂』 市丸 昭太郎／著 佐賀新聞社 2017

「龍造寺家関係系図(鍋島文庫)」収録。

家臣について

●『肥前鍋島家分限帳』 高野 和人／編 青潮社 1994

「五ヶ國御領地之節配分帳」(龍造寺隆信幕下^{ばっかちゃくとう}着到)収録。索引あり。
「龍造寺氏略系図」も収録。

●『佐賀藩の総合研究』藤野 保／編 吉川弘文館 1981

龍造寺家臣団の構成について記載あり。「龍造寺氏(鍋島氏)系図」も収録。



佐賀県立図書館ホームページで調べる

<https://www.tosyo-saga.jp>

●古文書・古記録・古典籍データベース

<https://www.sagalibdb.jp/komonjo/>



佐賀県重要文化財『龍造寺家文書』の画像をパブリックドメインとして公開しています。戦国大名龍造寺隆信を輩出した肥前の龍造寺氏に係る277点の文書群です。鎌倉時代から南北朝・室町・戦国時代にいたる中世文書が大部分を占め、国内現存最古とされる観応2(1351)年書写の刀剣書(銘尽)も含まれます。

●レファレンス事例集

<https://www2.tosyo-saga.jp/kentosyo2/reference/search.do?lang=ja>



これまでに佐賀県立図書館で実際に受けたレファレンス(調査相談)の事例集です。事例キーワード「龍造寺」等で検索すると過去の事例を見ることができます。

The image shows a navigation menu on the left with the following items: デジタルライブラリー, データベース (古文書、絵図、楽懸、etc), 佐賀の民話, Web版佐賀の昔話, くすくすくんのWeb版古文書入門, 佐賀の自然デジタル大百科事典, 佐賀をさがそう. Below this is a 'レファレンス(調査・相談)' menu with items: 利用案内, Eレファレンス, 申し込み, 事例集, サラダ集. To the right is a screenshot of the library website with a red circle around the '事例集' link in the navigation bar.